



特定非営利活動法人日本防災士会・富山県支部

# 富山県防災士会会報

第 18 号

平成 29 年 7 月 1 日  
発行 富山県防災士会  
連絡先 090-9762-8267  
(事務局：佐伯)

## 平成 29 年度通常総会 設立 10 周年、更なる会員拡大と地域連携強化

平成 29 年度の通常総会を 3 月 25 日、富山県民会館にて開催した。出席者 58 名、委任状提出者 49 名の合計 107 名であった。

小杉会長の挨拶では、28 年度に発生した熊本地震や鳥取地震による大きな被害に鑑み、地域と連携した防災士の役割にますます期待が寄せられ、防災士の活動が広く認知されてきていること、さらに本年は富山県防災士会発足 10 周年を迎え、記念式典が予定されていることなどが示された。



小杉会長

議案では、28 年度事業報告および決算報告、29 年度事業計画および予算が提案され、承認された。また、会員要件の変更を主たる改正とする会則改正議案についても、活発な質疑応答の後、承認された。新任役員については、女性防災士の一層の活躍に期待し、新たに女性副会長を配するなどの人事案が提案され、承認された。新役員および新人会員の紹介の後、日本防災士会から授与された富山県支部旗が総会出席者にお披露目され、出席者一同今後の決意を新たに、総会は終了した。(記 上田)

## 特別講演 「被災地を支援して」 アジア子供の夢・東北エイド代表 川渕映子氏



川渕映子氏

通常総会に先立ち、特別講演を行った。

「やればできるちゃ」をモットーに、東日本大震災の被災地を今までに五十回以上訪れられ、物資の提供、心の支援(情報収集を兼ねながら)を熱い思いで今も続けられている。

私達は、小さなボランティアグループです。被災地に小さな光を灯すには物の交流、心の交流が必要です。行政の支援が届いていない所へ出向き自分たちのできることを精一杯やればいいと思って活動しています。私達のようなグループが日本には 400 以上あります。その活動には、日頃からの積み重ねや基盤がないと急にはできません。現地の方々と繋がり、顔の見える関係をつくり、独りよがりにならないよう心掛けています。被災地の必要とするニーズも時間の経過とともに変わり探すのも一つの支援です。さらに、被災地・戦場では、砂糖等の甘い物が求められます。果物、ぜん

ざい、ジュースや紅茶です。また、フィリピンのレイテ島を襲った台風災害に子供の古着を持参し、現地のニーズに合い喜ばれたこと。シリアの子供達へは難民のため 6 年間教育を受けていないため字が読めないで鉛筆等の文具よりタオルと石鹸が欲しいと言われたこと。このように、被災地等に行くことで学ぶことができ、現地入ってみてより具体的なニーズが見えてきますと力強く話された。最後に、防災士の方々には皆様のユニホームの力を信じてより広範囲に活動されることを願っていますと結ばれた。(記 佐々木)

## 富山県防災士会 10 周年記念式典

～新たな 10 年にむかって～

5 月 28 日、富山県民会館において、行政関係部署・関係各団体、会員等 84 名が参加し、設立 10 周年記念式典が開催された。



竹内章氏

式典では初めに小杉会長の開会挨拶があり、NPO 法人日本防災士会常務理事の橋本茂氏、富山県総合政策局の防災・危機管理課課長の大木英文氏から祝辞があった。その後、記念講演では、富山大学名誉教授竹内章氏より「日本列島の地殻変動と災害～近年の地震・津波・火山噴火について～」の講演があった。続いて、竹内氏のコーディネートののもと、大木氏のほか、富山大学人文学部准教授の大西宏治氏、富山国際大学現代社会学部教授の尾畑納子氏により、

『防災士に期待する』をテーマにパネルディスカッションが行われ、今後の地域防災リーダーとして、活動の指針となるものが得られた。その後、祝賀会に移り、新たな 10 年にむかってより一層の前進を誓って終了した。なお、記念誌「10 年のあゆみ」を発行し、会員並びに関係機関に配布された。(記 鈴木)



記念式典参加者

会員  
自己紹介

防災士(砺波市)鈴木茂信



防災士になって5年目となります。数年前まで在職した企業では、主に環境 ISO や内部統制・危機管理マネジメントを専らとする業務に就き、社内の事業継続計画の整備や、行政との物資支援協定などをすすめてきました。しかし、組織の社会貢献や事業継続を第一に考えれば考えるほど、市民生活との矛盾も出てきます。ある紹介で防災士講座を知り、受講させていただくことになりましたが、講座ではいかに自分の知識が浅く断片的なものであったかが思い知らされ、体系的な防災減災の仕組みや、防災組織のこれからの可能性を深く学ばせて頂いた次第です。これからもみなさんといっしょに切磋琢磨させていただけたらと思っています。

新入会員向けガイダンス  
兼防災士スキルアップ研修会と今後の予定

平成29年4月8日、サンシップとやまにおいて野田副会長、佐伯事務局長の両名を講師に、第1回研修会が開催されました。38名の参加者が「防災士の理念、防災士の現状」について学び、防災士としての活動の方向性を各々が改めて見直す機会となりました。富山県防災士会のさまざまな活動を通して各人がスキルアップし、防災・減災にむけた効果的で有効な行動計画に繋がっているように思います。

またワークショップ形式の「踏切問題」など受講者の関心度や参加意識の向上を図る方法を多く学びました。今後、この研修会が回を重ね、更にレベルアップした富山県防災士会に生まれかわる事を期待します。

以下に今後の予定を記します。

- 第3回ガイダンス研修会 7月8日(土)13:30～  
内容：短時間集中豪雨・台風における避難  
避難勧告に対する避難率の圧倒的な低さ 等
- 第4回ガイダンス研修会 9月9日(土)13:30～  
内容：防災士の現在Ⅲ(メディアとしての防災士等)  
著作権・災害ボランティア・糸魚川大火 等  
積極的なご参加をお待ちしています。(記 川戸)

富山市と防災研修・啓発に関する業務委託  
の締結が行われました

平成29年6月19日に富山市と富山県防災士会との間で「防災研修・啓発に関する業務委託」の締結が行われました。地域防災力の要となる自主防災組織の育成・強化並びに市職員(地区センター)に対する災害図上訓練などを行います。具体的な内容は以下の通りです。

- ① 地域における防災リーダー育成研修会
- ② 市職員の避難所運営能力の向上を図るための避難所運営訓練の実施 3回 120名対象
- ③ 自主防災組織活動のアドバイス
- ④ 市発行の防災啓発チラシへの投稿

委託期間は契約締結日から平成30年3月31日までです。

平成29年度各行政総合防災訓練について

富山県		岩瀬港 富山県広域消防防災センター
富山市	9月30日(土)	富山市民球場アルペンスタジアム・新庄小学校
立山町		立山町役場・立山小学校
朝日町	8月26日(日)	サンリーナ
黒部市	8月27日(日)	東布施
魚津市	9月24日(日)	村木小学校
上市町	11月5日(日)	弓庄地区
射水市	8月20日(日)	大江地区
高岡市	8月27日(日)	五位・福岡中学校
砺波市	8月20日(日)	油田・南般若・柳瀬
南砺市	8月27日(日)	福野小学校
小矢部市	9月24日(日)	東部小学校・子撫地区
氷見市	各地区	八代・久目(8/6)・藪田(8/20)窪(9/10)

※入善町は未定です。各総合防災訓練への積極的なご参加・ご協力をお願いいたします。(6月16日時点)

NPO 法人の設立に関して

富山県防災士会が発足して10年が経過し、会員数は約8倍に増加、活動内容も量・質ともに増大しています。理事会では、当会に対するニーズや要請事項の変化に対応するために、社会的認知度を上昇させ、かつ組織としての安定した財源を獲得する目的で、NPO法人化を検討してまいりました。本年の第1回・第2回理事会でNPO法人を設立する実施部会も立ち上げ、以下のスケジュールですすめる予定です。

- 5～6月 準備期間(調査期間)
- 7～9月 必要書類作成
- 10月7日 第3回理事会に設立総会資料提出
- 11月11日 臨時総会・設立総会の開催
- 11月中旬 富山県へ申請書提出
- 2月下旬 設立認可(予定)
- 3月上旬 法務局へ法人の登記申請
- 3月24日 通常総会后、法人に移行

(記 事務局佐伯)

【寄付金のお礼】

10周年記念事業にあたり寄付金を募りましたところ、多くの会員各位から多額のご芳志を賜り、ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。(10周年実行委員会)

《編集後記》

東日本大震災に近い2011年3月12日と15日に、長野県と静岡県で震度6強の地震が発生しています。この時気象庁が最大限に警戒したのは富士山の噴火とその被害であったことを、竹内先生の講演を聞いて思い出しました。その脅威はまだ終わっておらず、今後も目を留めていきたいと思っています。(S)

